

## 平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 6 回幹事会議事録

日 時：平成 30 年 3 月 17 日（土）9:00～12:00

場 所：徳島県 ホテル秘境の湯 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，大久保幹事，葛西幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，平幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，杉岡事務局

### 配布資料：

- 幹 6-0 平成 29・30 年度複合構造委員会第 6 回幹事会議事次第
- 幹 6-1 平成 29・30 年度複合構造委員会第 5 回幹事会議事録（案）
- 幹 6-2 平成 29 年度委員会予算執行状況
- 幹 6-3 平成 30 年度全国大会・研究討論会
- 幹 6-4 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹 6-5 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 6-6-1 土木学会論文集 A1 分冊からの意見照会
- 幹 6-6-2 【開催案内】土論・拡大編集調整会議 20180423
- 幹 6-6-3 別紙 1\_土木学会論文集の満たすべき基準
- 幹 6-6-4 別紙 2\_チェックリスト提出用
- 幹 6-7 出版関連報告
- 幹 6-8-1 書籍英訳化に関する打ち合わせメモ 180308
- 幹 6-8-2 書籍英訳版 180306
- 幹 6-8-3 IABSE\_JSCE\_180306
- 幹 6-9-1 温故知新セミナーについて
- 幹 6-9-2 第 1 回温故知新セミナー会告
- 幹 6-9-3 行事計画書
- 幹 6-10 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 6-12-1 H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会 180315
- 幹 6-12-2 H106 意見照会シート集約標準 20180315
- 幹 6-12-3 H106 意見照会シート集約指針 180315
- 幹 6-12-4 H106 性能照査例 180315
- 幹 6-12-5 H106 指針 20180315
- 幹 6-12-6 H106 標準 20180315
- 幹 6-12-7 H106 H106 出版確認書
- 幹 6-12-8 H106 H106 講習会計画
- 幹 6-12-9 H106 H106 行事計画書
- 幹 6-12-10 H106 H106FRP 指針会告案
- 幹 6-13 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 6-16 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹 6-18 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹 6-20 平成 30 年度重点研究課題案（複合構造）
- 幹 6-21-1 【依頼】研究企画委員会 部門幹事選出のお願い（I 分野）

- 幹 6-21-2 幹事団一覧\_幹事兼務
- 幹 6-21-3 委員構成
- 幹 6-21-4 研究企画委員会規則
- 幹 6-22-1 【調査研究部門宛】ニュースリリース作成依頼 2018
- 幹 6-22-2 【資料 1】ニュースリリースの流れ
- 幹 6-22-3 【資料 2】ニュースリリースフォーマット\_20180227
- 幹 6-22-4 【資料 3】ニュースリリースサンプル (20171117 水インフラ更新小委員会)

**議事内容：**

1. 委員長挨拶  
西崎委員長より、幹事会開催にあたって挨拶がなされた。
2. 複合構造委員会第 5 回幹事会議事録案確認 (資料 幹 6-1)  
中村幹事より、資料に沿って説明がなされ、議事録として承認された。
3. 平成 29 年度予算執行状況 (資料 幹 6-2)  
溝江幹事長より、資料に沿って、現状の予算執行状況の報告があった。
4. 平成 30 年度全国大会・研究討論会 (資料 幹 6-3)  
松本幹事より、資料に沿って説明がなされた。
  - ・研究討論会について複合構造委員会のテーマが今年の北海道全国大会で採用されなかった場合、来年の全国大会となるが、その場合、討論会の内容は見直した方が良いかもしれないとの意見があった。
5. 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム (資料 幹 6-4)  
大久保幹事より、資料に沿って説明があった。
  - ・今回は FRP シンポジウムであり、例年通りアブストラクトの受付の締め切りは 5 月末頃、論文の締め切りは 8 月末頃を予定しているとの報告があった。
6. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造 (資料 幹 6-5)  
橋本幹事より、資料に沿って説明があり、これまでの状況報告、スケジュール及び予算について、説明がなされた。
  - ・論文の総ページ数が予想より少し減ったため、校正に必要な経費が減る予定であるので、来年度に必要な予算が、前回の報告に比べ若干減る可能性があるとの報告があった。
7. 土木学会論文集 A1 分冊からの意見照会 (資料 幹 6-6)  
溝江幹事長より、資料に沿って説明があり、資料 幹 6-6-1 の回答案と資料 幹 6-6-4 のチェック項目の回答案について審議がなされ、以下のように修正された。
  - ・資料 幹 6-6-4 の調整委員会に提出するチェック項目回答案に関して、チェック項目 (3) は討議を複合 (もしくは FRP) シンポジウムで行っているため、Yes と回答する。
  - ・チェック項目 (4) のサンプル論文も、土木学会論文集通常号のものをサンプルとすることで Yes と回答する。
  - ・資料 幹 6-6-1 の複合構造委員会の特集号編集小委員会としての回答案の 5) の項目は削除する。

#### 8. 出版関係報告（資料 幹 6-7）

大久保幹事より、資料に沿って、現状の出版数の報告がなされた。

#### 9. 書籍英訳化（資料 幹 6-8-1～2）

溝江幹事長より、資料に沿って報告があり、以下のいくつかの点で審議を行った。

- ・3月の書籍英語化の打ち合わせ時に、中村俊一先生より、資料 幹 6-8-2 のように既に英訳を行ったとの報告があり、その英文のチェックをお願いしたいとの依頼があった。
- ・英文のチェックに関して、執筆者の大山先生、コンクリート分野の斉藤先生と鋼構造分野の北根先生にチェックをお願いする方針となった。
- ・道路橋示方書などの引用に関しては、割愛する方向とする。ただし、全て削除するのではなく内容によって判断する。
- ・公開の方法に関しては、会員は無料（→土木学会のウェブで出版一覧ページにおいてダウンロードできるようにするなどの方法で）、非会員はお金を徴収することで進めていく。

#### 10. 第2回温故知新セミナー（資料 幹 6-9-1～3）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされ、募集案内について審議を行った。

- ・タイトルを「第2回 若手技術者のための温故知新セミナー」から「第2回 若手技術者のための温故知新セミナー ～鋼とコンクリート～」に変更することとなった。
- ・今回、共催はしないが、参加の要請は鋼構造委員会にも出すこととなった。
- ・後援してもらう協会は提案通りとなった。
- ・懇親会の会場は弘済会館も検討することとなった。
- ・当日の幹事追加案やプログラム案は提案通りとなった。
- ・参加費は非会員も含め全員無料とし、謝金などは委員会予算から払うこととなった。

#### 11. 小委員会報告審議（資料 幹 6-10）

##### (1) H101 複合構造標準示方書小委員会

溝江幹事長より、活動状況について報告がなされた。

- ・全体構成と各編の作業状況の確認のための全体委員会を3月に開催する予定で、それまでに各WGで活動しているとの報告があった。

##### (2) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会（資料 幹 6-12-1～10）

中村幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・前回幹事会の報告時からの進捗と今後の予定について報告があった。
- ・会告や出版のスケジュールは資料のとおり進めて行くこととなった。
- ・参考資料として掲載している性能照査例は本文ではないので本文と同じ要領（親委員会・幹事会で査読）での査読は行わないこととなった。

##### (3) H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会（資料 幹 6-13）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされた。

- ・2月に第1回小委員会を開催し、5月に第2回小委員会を開催する予定との報告があった。

##### (4) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事長より、活動状況について報告がなされた。

- ・4月初旬に沖縄で委員会を開催するため、年度初めに予算執行の予定（沖縄出張）があるとの報告があった。

(5) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会  
川端幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・小委員会を5月に北海道で開催予定との報告があった。

(6) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹 6-16）

松本幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ブラインド性能評価を実施し、その結果を整理する予定との報告があった。

(7) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

溝江幹事長より、活動状況について報告がなされた。

- ・委員会活動は概ね順調に進めているとの報告があった。

(8) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料 幹 6-18）

橋本幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・WG 活動を進めているところであり、3/28 に第3回小委員会を開催する予定との報告があった。

(9) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

大久保幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・現在、小委員会活動の準備を行っているとの報告があった。

#### 15. 平成 30 年度重点研究課題について（資料 幹 6-20）

溝江幹事長より、資料に沿って報告、審議がなされた。

- ・現時点で、申請予算より減額される可能性が高いが採択される予定であるとの報告があり、減額されても採択を受けることとなった。
- ・今後は主要メンバーを選出し、4月頃に一度集まることとなった。

#### 16. その他

(1) 研究企画委員会からの部門幹事選出依頼（資料 幹 6-21-1～4）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされ、研究企画委員会の幹事の依頼に関して審議がなされた。

- ・これまで、この委員会の委員はI部門の常置委員会で持ち回りとしていたが、幹事役は決まったローテーションがないとの報告があった。
- ・過去のI部門の幹事経験者を調べると応用力学委員会→構造工学委員会ときているようで、次は鋼構造委員会もしくは地震工学委員会からの可能性があるのではとの意見があった。これに関して西崎委員長から、I部門の全委員会の委員長へ打診することとなった。

(2) 土木学会の活動内容および成果に関するニュースリリース作成のお願い（資料 幹 6-22-1～4）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされた。

- ・委員会活動や成果のニュースリリース作成に関する依頼が調査研究部門のコミュニケーション部門からあったことが報告された。

(3) e-ラーニングについて（資料 幹 6-8-1）

溝江幹事長から資料に沿って説明がなされた。

- ・書籍英語化の打ち合わせ時に、中村俊一先生からe-ラーニングの教材作りに関する話題があり、

まずは日本語版を制作し、将来的には英語版にも発展させたいとのこと。

- ・常置の小委員会として継続教育に関する委員会を立ち上げ、その委員会の中で検討してもらってはどうかとの意見が出された。
- ・第3回複合構造委員会で報告し、第4回複合構造委員会で承認を目指すこととなった。

(4) IABSE との連携（資料 幹 6-8-1, 3）

溝江幹事長から資料に沿って説明がなされた

- ・書籍英語化の打ち合わせ時に、中村俊一先生から IABSE と連携し国際コロキウムを開催したいとの提案があったことが報告された。
- ・複合構造シンポジウムの中で開催してはどうかなどの意見があったが、一度、国際連携小委員会に相談することとなった。

以上

（記録・文責：橋本）